

**「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーン推進協議会
平成25年度 総会・講演会 開催報告**

【日 時】平成25年8月30日（金）13:00～15:35

【場 所】兵庫県公館 大会議室（神戸市中央区）

【参加者】キャンペーン幹事団体、推進団体、一般県民等 300名

時 間	内 容
13:00	第1部 総会・講演会
	<p><開 会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージ映像（DVD）上映
13:05 ～ 13:30	<p><推進協議会設立総会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催者あいさつ 全県キャンペーン推進協議会 武田代表幹事 ・幹事団体紹介 <p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度事業報告・決算 →平成24年度の事業報告・決算が原案のとおり承認された。 ・平成25年度事業計画・予算 →平成25年度の事業計画・予算が原案のとおり承認された。
13:35 ～ 15:00	<p><講演会（落語）></p> <p>「縁結び～笑う門には、つながり来る～」 講 師：笑福亭 鶴笑 氏</p> <p>「国境なき芸能団」代表として、「地上に平和を、人々に笑顔」をスローガンに幅広く活動されている講師を迎えて講演。</p> <p>また、実際のイラクでの活動風景のビデオ上映を行いながら、「笑い」や「つながり」の大切さを、落語や南京玉すだれ、パペット落語を通じてPRした。</p>
15:05 ～ 15:35	第2部 実践報告会
	<p>※兵庫県の「地域見守りネットワーク応援協定」報告会を兼ねて開催</p> <p>兵庫県知事の代理として、太田健康福祉部長の挨拶の後、尾山社会援護課長が事業説明を行った。続いて、実践報告として、生活協同組合コープこうべから、2つの地域見守りの実践報告があった。</p> <p>（「兵庫県地域見守りネットワーク応援協定」は、平成25年8月28日に協定締結式が行われ、県内のライフラインに関わる企業など24団体が協定締結。）</p> <p>実践報告を受けて、協定締結団体である兵庫県民生委員児童委員連合会の亀田副会長からのメッセージと今後の取り組みへの期待が伝えられた。</p>
15:35	<p><閉 会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ 兵庫県市町社協活動推進協議会 稲野会長

<参 考>

参加者アンケート（一部を抜粋）

① 総会・講演会について

- 鶴笑さんが「笑い」を届けた様に、私にも「ストップ・ザ・無縁社会」に向けて、もっと何かが出来ると思った。
- 笑いの中から無縁社会、人との繋がり等を考える楽しい講演会だった。
- 総会については、賛同者の増加を期待している。講演会では、社会にとっての「笑いの大切さ」を再確認ができるものだった。
- 無縁社会に関して最近報道されるようになり、皆さんが考えるようになってきている。これは良いことだと思う。落語はとても良かった。
- 笑いの輪を広げていくことで、多くの人々と繋がるができる。これは「ストップ・ザ・無縁社会」のキャンペーンにも繋がることだと思う。
- より積極的な広報を行って頂きたい。協賛団体をもっと増えることを願っている。協賛団体が199にまで増えており、頼もしいと感じた。
- みんなで笑って会場が暖かい雰囲気になった。こういう繋がりが社会にでも出来ればと思う。
- パワーポイントを使った分かりやすい総会だった。講演では、笑いを通じた、人と人との繋がり大切さを改めて感じた。

② 実践報告会 兵庫県地域見守りネットワーク応援協定報告について

- コープこうべの報告を聞いて、改めて地域社会との繋がり大切さに気づきました。救える命があることに感動しました。
- 毎日、各戸へ接している新聞や宅配事業者の方の動きは重要。取り組みが益々広がる事を期待します。
- NPOや社会福祉法人だけでなく、様々な業者が互いにネットワークづくりに尽力できるようになれば、今後多様なサービスが生まれ、地域から孤立する人が少なくなると思う。
- 地域の中のいろんな立場で活動する人が協力し合う見守りネットワークは、これから益々必要になってくる。地元にもそんな仕組みをつくりたいと思った。
- 企業と連携して行う取り組みは大変良い。企業としても社会的責任も果たせ、本当に良い仕組みだと思う。
- 地域見守りネットワークの活動は素晴らしい。一人暮らしの人々にとって、個別配達はありがたく、また安心に繋がる。高齢化社会になくてはならない活動なので継続してほしい。

総会・講演会、地域見守りネットワーク応援協定報告 スナップ

